

たがまつの森

港区立高松中学校 学校だより<第6号>

令和5年11月27日 校長 中山 幸子

創立1949年（昭和24年）

〈高松中生のあたりまえ〉推進校

港区高輪1-16-25

シンボルツリー（桜）を植樹しました。

皆さんは「国の花」と言われて何を想像しますか？

「国花」を 広辞苑でひくと、『その国民に最も愛好され、その国の象徴とされる花』とあります。

「国家を象徴する」と「国民に愛好される」、この2つが重要なポイントのようです。

パスポートの紋章や皇室の象徴が「菊」なので、国家を象徴するという意味では「菊」を思い浮かべる方もいるかもしれません。

一方で、国民が最も愛するという意味では「桜」の方が勝ると考える人もいるかもしれませんね。

また、桜の開花は毎年ニュースで予想されますが、菊の開花時期を把握している方はそう多くないかと思われます。菊は仏花に使われる場合が多く一年中見かけられるため、開花時期を意識しないかもしれません。

気になる答えは、まさかの…

実はどちらの花も「国花」なのです。

国花について広辞苑では『桜または菊』、明鏡国語辞典では『サクラ・キク』と記載されています。



前置きが長くなってしまいましたが、11月22日（水）の午後に、生徒会、ガーデニング部、希望した生徒たちによって、桜の苗木を植樹しました。

これは、港区教育員会のマイスクール PR コンペティションという事業を活用して、地域の方と生徒たちによる憩いの場をつくる活動の第一章です。これまで高松の森の一角に桜の木がありましたが、昨年11月に倒れてしまいました。地域の方や通行される方々が道路沿いから桜を楽しんでいた経緯もあり、桜を復活させる運びとなりました。嬉しいことに、松ヶ丘町会から会長さんを含め3名の方々にもご参加いただき、在校生、卒業生、地域の方、みんなが楽しめるよう、今後につなげていく弾みになりました。同窓会副会長さんをはじめ PTA 役員及び高松交流ガーデン、挨拶運動でご協力いただいている地域の方々にもご参加いただきました。本当にありがとうございました。来年からは、桜の花が咲き、生徒たちと同じように成長していくこの桜の苗木を一緒に楽しみましょう。